

# 合同墓の運用について

市民クラブ  
是枝 貴裕

**問** 合同墓の運用にあつては、この間、埋蔵しようとする焼骨を所持している方が市外に居住する場合、故人が砂川市に住所を有しな

ければ利用を制限するとした厳格に取り扱う傾向が見受けられます。故人によつては諸事情により市内での永住が叶わず市外に転

出せざるを得ないケースも考えられるため、利用したい方の意向を踏まえた配慮ある制度の運用が必要ではないか伺います。

**答** 合同墓は、年間の埋蔵数を50体とし30年間の供用を予定していましたが、現在まで約5年間の状況では埋蔵された焼骨は389体、年平均で83体となっているため、市民を優先してまいりました。

ただ、砂川市に永くお住まいであったものの、市外の介護施設等へ余儀なく転出した場合や亡くなる直前に転出した場合などのケースは想定していません。

**問** 市民を優先した考え方は理解できるが、砂川市で暮らし、長年

まちづくりに参加してきた市民が転出を余儀なくされ、合同墓が利用できないという状況があるとしたら、これは配慮に欠けた措置のように思えます。今後、そのような事例については、柔軟に対応する考えがないか伺います。

**答** 対象範囲を広げることにより市民の利用が制限されることにならないように考慮し、市民を優先する措置を執ってきたが、これまでの利用件数の動向から、質問にあるケースなど、今後に不安を感じる市民のニーズに沿った対応について検討したいと考えます。



# 砂川高校における昼食の提供支援について

創生会  
伊藤 俊喜

**問** 今回の補正予算で小学生と中学生の給食費無償化の予算が新規で計上されました。そこで、義務教育の枠からその先の一步を進め、地元の高校である砂川高校の生徒への新たな支援策の1つとして昼食の提供ができないか伺います。

**答** 昼食の提供については、コストを含めた業務上の検討や受け入れる側の砂川高校の体制がどうなのか、学校と十分に協議を行っていきます。

## フツ化物洗口の調製方法について

**問** 現在、小学校と中学校において、希望する児童生徒を対象に実施しているが、その実施に当たっては、顆粒を学校に配布し、実際に使用する液体にするための希釈を学校教職員が行っている状況です。

このフツ化物洗口に使用される前の粉末状態は劇薬指定を受けて

いる医療用医薬品であります。学校教職員で行うことは認められていますが、その取り扱いには十分に注意を払う必要があります。今後液体の状態ですぐに配布ができないか伺います。

**答** 空知管内では、学校が希釈は砂川市を含め4自治体、薬剤師会等の希釈は18自治体、教育委員会が2自治体です。学校や教職員の負担軽減を図る観点から、業務の検証を進めます。学校薬剤師会との協議が整い、一部でも可能ならば8月から実施するとともに、予算面で課題があれば、翌年度に対応を図ってまいります。



## JR砂川駅の設備改善について

公明党  
辻 勲

**問** 市民が安全で快適に移動するために必要な砂川駅の設備改善について、令和2年9月1日「JR砂川駅東口整備期成会」でJR北海道本社に要望したところですが、令和4年度には駅東口の必要性についてJR北海道に確認し、1番線の廃止を見込んでのJR側施設の整備・改修・撤去等に係る概算工事費の算定をお願いしていくとともに、駅舎・駅前広場・駐車場等を配置した東口整備のイメージ図によるJR施設以外の配置の妥当性を内部協議いただくなど、建設時の課題となる事項をJR北海道とともに協議・検討して行きたいとのことでしたが、これらの設備改善の可能性について伺います。

**答** JR北海道と協議を進めてまいりましたが、技術的判断をする人材が不足していること、JRの工事積算が可能なコンサルタントも、北海道新幹線札幌延伸に関する業務量が膨大なことから困難で

あると示されています。

しかしながらJR北海道からは、砂川駅東口整備の計画及び必要性は理解いただいているところであり、設備改善に着手できる可能性については、早くても新幹線工事が完了する令和12年度以降と示されていますが、今後とも早期着手に向け、これまで同様、粘り強く協議を進めていきます。



JR砂川駅東口整備

ほかに「有害鳥獣対策について」「新型コロナウイルス感染症の対策について」「運転免許証自主返納サポート事業について」質問しました。

## 砂川市予約型乗合タクシーについて

創生会  
山下 克己

**問** 予約型乗合タクシーは、交通弱者、特に高齢者にとつて必要不可欠な事業となっており、市民からは更なる利便性の向上を求める声も多く聞かれるが、利用状況の推移とその評価について伺います。

**答** 令和4年度では過去最高となる1万158人の利用があり、利用者登録人数も年々増加しており、日常の移動手段として市民に定着してきているものと考えています。

**問** 市民や事業者からの意見聴取の状況について伺います。

**答** 砂川市地域公共交通会議において協議が行われており、利便性向上に関する意見も寄せられています。また、平成29年度に全利用者登録者、令和2年度に実際の利用者を対象にアンケート調査を実施したが、今後、登録はしているが現在利用していない方から意見を聞くなど検討していきます。

**問** 運行便の増便や時間設定、予約方法など利便性向上に取組む必要があると考えるが、市の考えを

伺います。

**答** 利便性向上に取組む必要はあると考えるが、内容によつては、様々な調整や協議が必要となることから、利用者のニーズなど意見反映することができるよう、引き続き検討・協議していきます。

**問** 予約型乗合タクシーを含め様々な交通機関を連携させることにより地域公共交通の活性化を図る必要があると考えるが、市の考えを伺います。

**答** 予約型乗合タクシーを継続運行する中で、更なる効率的な連携について研究していきます。

